


事業者名	広島県								
機器名	赤外分光分析装置								
写真									
特徴・用途	<p>試料に赤外線を照射したとき、材料の分子構造に基づいて特定の波長の光を吸収する性質を使用して、主として有機物の種類、構造を調べるための装置であり、特にプラスチックなどの高分子材料分析に使用する。</p>								
設置場所	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成29年12月	13	0	0	13	21	0	0	13
	平成30年1月	12	0	1	7	11	0	5	13
	平成30年2月	16	0	3	9	16	0	5	17
	平成30年3月	18	0	5	11	21	1	3	20
	平成30年4月	10	0	3	6	10	1	1	11
	平成30年5月	9	0	1	7	12	0	3	11
	平成30年6月	11	0	2	11	23	0	4	17
	平成30年7月	8	0	1	12	19	1	1	15
	平成30年8月	9	0	1	7	11	0	3	11
	平成30年9月	10	0	1	12	19	1	1	15
	平成30年10月	13	0	1	14	18	1	3	19
	平成30年11月	12	0	3	11	14	0	4	18
	平成30年12月	10	0	1	16	31	0	1	18
	平成31年1月	13	0	1	18	21	1	4	24
	平成31年2月	12	0	4	11	18	1	2	18
	平成31年3月	14	0	1	14	15	2	2	19
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチック材料の種類を同定することで、原材料の品質管理や異物の原因推定に役立っている。 ・ これまで難しかった微小材料や微細分布の分析が可能となったことで、製造現場におけるトラブルなどにより高精度に対応できるようになった。 								
補助事業概要 の広報資料	https://hojo.keirin-aurorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-046koho.pdf								

事業者名	広島県								
機器名	熱分析装置								
写真									
特徴・用途	試料の温度を変化させて、重量変化と溶解・分解・燃焼など吸発熱状態を測定する装置。主に、高分子材料の熱物性を得ることができる。								
設置場所	広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成29年10月	0	0	0	件数(件)	時間(時間)	0	0	0
	平成29年11月	6	0	0	6	26	0	0	6
	平成29年12月	12	0	0	12	54	0	0	12
	平成30年1月	3	0	0	3	14	0	0	3
	平成30年2月	7	0	0	7	51	0	0	7
	平成30年3月	12	0	0	12	71	0	0	12
	平成30年4月	1	0	0	1	5	0	0	1
	平成30年5月	3	0	0	3	14	0	0	3
	平成30年6月	3	0	0	3	11	0	0	3
	平成30年7月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年8月	1	0	0	1	6	0	0	1
	平成30年9月	4	0	0	4	10	0	0	4
	平成30年10月	7	0	0	7	36	0	0	7
	平成30年11月	1	0	0	1	2	0	0	1
	平成30年12月	3	0	0	3	14	0	0	3
	平成31年1月	2	0	0	2	10	0	0	2
	平成31年2月	7	0	0	7	31	0	0	7
	平成31年3月	2	0	0	2	8	0	0	2
利用者等の声	観察窓を有する等の新たな機能を有するので、従来では得られなかった知見を見出す可能性がある。また、本装置は故障中だったため、更新によって迅速な測定が可能となり、助かっている。								
補助事業概要 の広報資料	https://hoio.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-046koho.pdf								